

region, J. Meteor. Soc. Japan, 60, 967-977.

Takeda, T. and K. Seko, 1986 : Formation and maintenance of band-shaped convective radar echoes, J. Meteor. Soc. Japan, 64, 941-955.

Takeda, T. and K. Takase, 1980 : Radar observation of rainfall system modified by orographic effects, J. Meteor. Soc. Japan, 58, 500-516.

Tsuboki, T., Biao Geng and T. Takeda, 2000 : Dual Doppler radar analysis of a squall line observed over the China Continent during the HUBEX intense field observation, Proc. of Int. GAME/HUBEX Workshop in Sapporo, 69-75.

Study on Cloud Physics and Meso—scale Atmospheric Water Cycle

Takao TAKEDA*

* *Tottori University of Environmental Studies, Wakabadai, Tottori 689-1111, Japan*

(Received 27 August 2001 ; Accepted 29 November 2001)

総会成立に向けての御協力をお願い

常任理事会

2002年5月22~24日に、日本気象学会春季大会が大宮ソニックシティにて開催されます。その中日の23日(木)午後には、総会が行われ、予算や事業計画などを含む重要事項が審議されます。

総会は、可能なかぎり多数の通常会員が参加し、学会の在り方や活動をよりよく発展させるために、会員各自の考えを出し合い議論する場です。従いまして、会員の総会への参加は、会員としての重要な権利であり、(強制ではないけれども)義務でもあります。

総会は、「総会の成立条件は通常会員数の過半数」となりました。我が学会の実情から言いますとこの過半数は相当大きな数であり、総会成立が危惧される数であります。このような状況を踏まえて、会員の皆様に積極的に「参加」の呼び掛けを行いました。

総会成立の困難な事情は、今後とも続くものであり、会員の皆様には、こうした状況をご理解して頂き、次回の総会におきましても、前回に増しまして総会参加のご協力を頂きますよう、心からお願い申し上げます。

なお、総会参加の形態は、総会会場に直に出席して頂くのが最も望ましいものですが、都合でそれがご無理な場合には、総会への意思表示を文書によって示して頂く方法もあります。それで、今回は「総会参加票」の葉書またはFAXなどの文書を提出して頂くことをもって、総会参加と意思表示とさせて頂きました。次回も同様な形で実施したいと考えておりますので、重ねてご協力をお願い申し上げます。

なお、総会参加票の葉書は春季大会の数週間前にすべての会員の皆様に郵送される予定です。